

とべさんぽ

今回は川登にある坪内家の近くを散歩してみました。砥部川の すぐそばで清涼感を感じられるさんぽでした。

ウォーキング情報

坪内家からゴール地点まで約 750 m、歩いて 15 分くらいでした。 歩いたのは午前9時頃。日差しの強い日でしたが、山からのひんやり した空気と川からの風で比較的涼しく歩けました。でも、今の時期は 暑さに気をつけてください。道中は砥部焼の窯元もあります。ほたる も舞う砥部川ですが、大きくカーブしたところでは、ダイナミックな 水の流れも見られます。

砥部陶磁器原料

スタート

広田地区



国道 379 号線

陶街道五十三次 39番スタンプ台あり

川の中の白い岩は 砥部焼の原料の 陶石で 1818年に 向井源治が発見 した場所です。

入口の看板が あります



江戸時代の終わり頃に川登の水車業 (水車の動力を使う仕事) を一手に引き 受けていた旧庄屋です。170年前の嘉 永7年(1854年)に建築され、その後

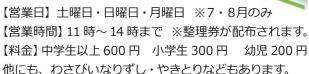




増改築をしています。 現在は NPO 法人 とべ・TOBE が保存・活用・イベントを 行っていて、夏は流しそうめんを開催し て涼を提供しています。

坪内家流しそうめん (ミニおにぎり付)

川登地区の原木しいたけで出汁をとった 自慢のめんつゆで!





陶街道五十三次

38番スタンプ台あり

砥部陶磁器原料 その名のとおり、砥部焼の原料となる粘 土を全国でもめずらしい製法で生産してい て、現在は3代目となる佐川啓二さんが継 いでいらっしゃいます。工場内では、先に

坪内家



鉄製の鋳物がついた餅つきの杵のような木材が砥石の上を 上下して砕き、水と土が混ざった泥漿(でいしょう)の上澄 みの細かい粒子を粘土にします。この工程を水簸(すいひ)



といいます。水簸で作られた粘土は粘り気 があり、不純物の少ない粘土になるとのこ と。品質のよい粘土を作るためにも、今の 製法をこれからも守っていかれるそうです。

今月号の 表紙写真

川登地区、余毛橋付近の景観です。 浅瀬では水あそびもできるそうですよ。

訂正とお詫び

広報とベ7月号4ページとベニュース「バレーボール 大会を開催しました」の順位表に誤りがありました。 以下のとおり訂正いたします。

誤:男子6人制3位 天神 正:男子6人制3位 上野

関係者の皆様に深くお詫びいたします。

久 久 人の動き

	7月1日現在	前月比
人口	20,290 人	- 20人
男	9,605人	- 3人
女	10,685人	- 17人
世帯	9,592 世帯	+ 2 世帯
0 ~14歳	2,288 人	- 17人
15~59歳	9,595人	- 13人
60~64歳	1,275人	+9人
65 歳以上	7,132人	+1人